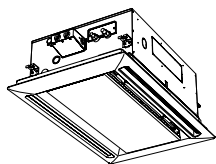
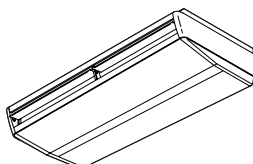
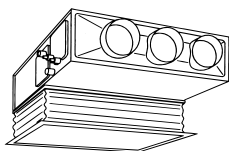
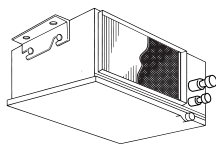
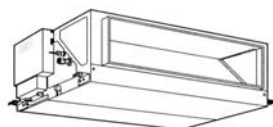
MITSUBISHI

三菱電機パッケージエアコン（冷媒R410A対応）
室内ユニット

取扱説明書

PL-RP・LA5シリーズ
PL-RP・LA6シリーズ

PC-RP･BA5シリーズ
PC-RP･BA6シリーズ
PC-RP･CA5シリーズ
PC-RP･CA6シリーズ

PD-RP・FA5シリーズ
PD-RP・FA6シリーズ

PE-RP･BA5シリーズ
PE-RP･BA6シリーズ

PE-RP・CA5シリーズ
PE-RP・CA6シリーズ

●お使いになる前に

●運転のしかた

●お手入れのしかた・困ったときに

このたびは三菱電機パッケージエアコンをお買いもとめいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この説明書を必ずお読みください。

●お読みになった後は、据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管ください。

●保証書は「お買上日、販売店名」などの記入をお確かめの上、大切に保管ください。

●お使いになる方が代わる場合には必ず本書と据付工事説明書及び保証書をお渡しください。

●お客さまご自身では据付・移設をしないでください（安全や機能の確保ができません）。

● お使いになる前に　安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■"図記号"の意味は次のとおりです。

禁　止	アース線接続
指示を守る	水ぬれ禁止
ぬれ手禁止	

⚠ 警　告

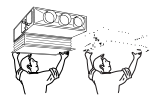
長時間直接お肌に風をあてない

健康を損なう原因になります。

禁止

お客さま自身で分解・据付け・修理・移設・廃棄はしない

不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。また、冷媒を大気に放出すると地球を汚染することになります。お買い上げの販売店にご相談ください。

分解・据付け・修理・移設・廃棄禁止

エアコンおよびリモコンを水洗いしない

ユニットおよびリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電の原因になります。

水濡れ禁止

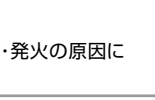
濡れた手で電源スイッチを操作しない

感電の原因になります。

濡れ手禁止

電気部品に水（洗浄水等）をかけない

電気部品に水（洗浄水等）がかかると、感電・発煙・発火の原因になります。

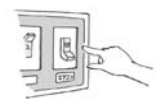
水濡れ禁止

異常時（異臭・異音・振動大など）は運転を停止して、電源スイッチを切る

異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。また、リモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断機がたびたび作動する場合もお買い上げの販売店にご連絡ください。

電源を切る

清掃及びメンテナンス作業時には運転を止め、電源スイッチを切る

ファン及びファンモーターへの接触によるケガや感電の原因になります。

電源を切る

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない

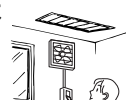
特にお子さまにご注意を!

内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

禁止

万一冷媒が漏れても限界濃度を超えないよう換気対策を行う

冷媒が漏れると、酸欠事故の原因になります。
お買い上げの販売店にご相談ください。

換気

⚠ 注　意

粉が浮遊する作業場等では使用しない

粉じんなどにより機器の故障や健康を損う原因になります。

禁止

直接風のあたる所に燃焼器具を置かない

不完全燃焼の原因になることがあります。
エアコンが燃焼器具の熱で変形することがあります。

設置禁止

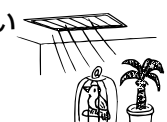
特殊用途に使用しない

精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しないでください。品質低下の原因になります。

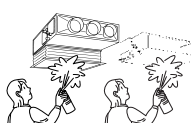
使用禁止

直接風があたる所に動植物を置かない

動植物に悪影響を及ぼす原因になります。

設置禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない

火災・変形の原因になります。

使用禁止

燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する

酸素不足の原因になります。

換気

室内ユニットの金属部にさわらない。

ケガの原因になります。

禁止

室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない

冷房時、多湿（湿度80%以上）時の長時間運転およびホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になります。

設置禁止

室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

落下・転倒によるケガの原因になります。

禁止

据付台などがいたんだ状態で放置しない

ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因になります。

放置禁止

運転中に冷媒配管に触れない

素手で触れると凍傷や、やけどになるおそれがあります。

禁止

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る

運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。

電源を切る

⚠ 注　意

フィルターなどの着脱のときは不安定な台に乗らない

落下・転倒によるケガの原因になります。フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。

禁止

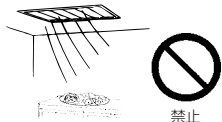
エアコンの下方に食品を置かない。

ホコリ・錆などが食品に落ちますと病気などの原因になります。食品加工場など食品を扱う場所での天井設置時は十分ご注意ください。

禁止

リモコンを先がとがった物で押さない。

故障の原因になります。

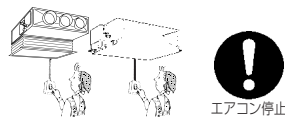
禁止

室内を薬品消毒のときにはエアコンを停止する。

薬品が飛散し危険です。

エアコン停止

フィルターの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する

目にゴミ・ホコリが入ることがあります。フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。

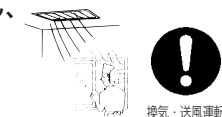
保護具着用

室内を薬品消毒のあとには、必ず換気をし、4～5時間送風運転を行う

エアコンに付着した薬品が吹き出すおそれがあり危険です。

換気・送風運転

エアコンを見ながら昇降操作をする　エアコンの下に障害となる物を置かない

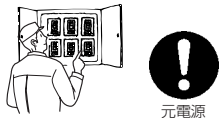
自動昇降パネルで昇降操作する場合、下降するパネルに人や物が接触し、ケガや損傷の原因になります。

操作

据付時　次の項目をご確認ください。

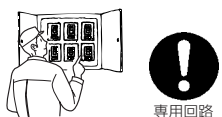
⚠ 警　告

据付けは、お買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

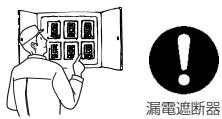
据付け

元電源の取付位置を確認する

元電源

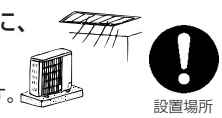
電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する

異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。

専用回路

漏電遮断器を取付ける

取付けていないと、感電の原因になります。

漏電遮断器

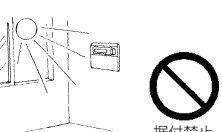
室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること

ユニットの落下・転倒などによりケガの原因になります。

設置場所

使用される別売部品は当社指定品であること

別売部品は、必ず当社指定のものであること。お客さまご自身で取付け不備があると、感電・火災・水漏れなどの原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。

別売部品

リモコン付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光があたる場所、湯・油・蒸気が飛散しリモコンに掛かるところには取付けない。

据付禁止

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

●使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
●法令違反のおそれあり。
封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。
指定冷媒以外を封入した場合、故障・誤作動などの不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。

禁止

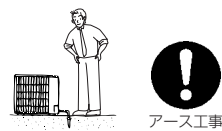
⚠ 注　意

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは据付けない

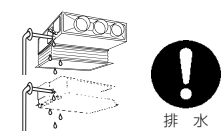
ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。

設置禁止

アース工事を行う

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

アース工事

ドレン配管は確実に行う

配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になります。

排　水

●冷媒（フロンガス）についてのご注意

このエアコンには、不燃性・非毒性・無臭の冷媒を使用していますが、これが漏れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いため、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。

（冷媒が漏れたときの処置）

万一冷媒が漏れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして十分換気を行ってください。その後、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●次の場所への据付けは避けてください。

本体が腐食しガス漏れしたり、性能を著しく低下させたり、部品が破損することがあります。

●可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
●粉や蒸気が多量に発生するところ
●酢（酢酸）を多量に使用するところ
●油煙がたちこめるところ
●温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ
●海浜地区など塩分の多いところ
●積雪により室外ユニットが塞がれるところ
●炎の近くや溶接時のスパッターなど火の粉が飛び散るところ

（このページの詳しい説明は、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。）

各部のなまえ

室内ユニット

■ユニットの形態により、装備している機能が異なります。

	PL-RP・LA5,6	PD-RP・FA5,6	PE-RP・CA5,6	PC-RP・BA5,6	PC-RP・CA5,6	PE-RP-BA5,6
風　速	3段階	40～80形　4段階 112～160形　2段階	2段階	2段階	2段階	1段階
上下風向調節	自動（スイング可）	—	—	—	自動	—
エアフィルター	○（ロングライフ）	○（ロングライフ）	別売	○	○	○
フィルタークリーニングサイン積算時	2500時間	2500時間	—	100時間	100時間	100時間

PL-RP・LA5,6

PD-RP・FA5,6

PE-RP・CA5,6

PC-RP・BA5,6
PC-RP・CA5,6

PE-RP-BA5,6

リモコン

MITSUBISHI

表示部

操作部

メニュー　戻る　決定　運転/停止

ワイヤードリモコン
（別売部品）

MITSUBISHI

温度

入/切

表示部

操作部

ワイヤレスリモコン
（別売部品）

室外ユニット

吸込口

吹出口
（ファンガード）

MITSUBISHI
Mr.SLIM

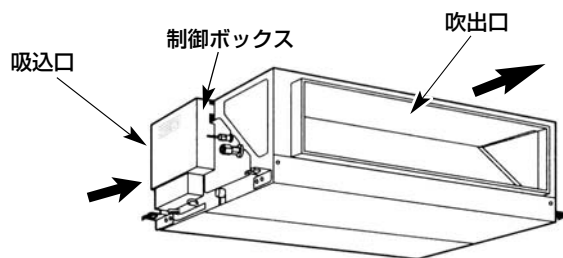
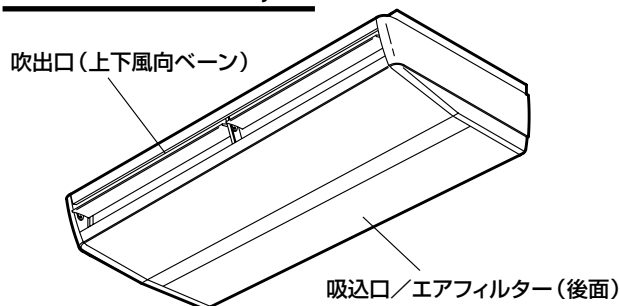
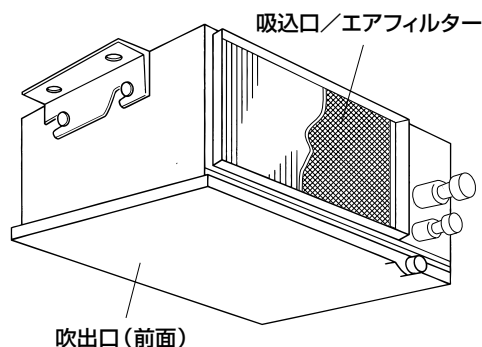
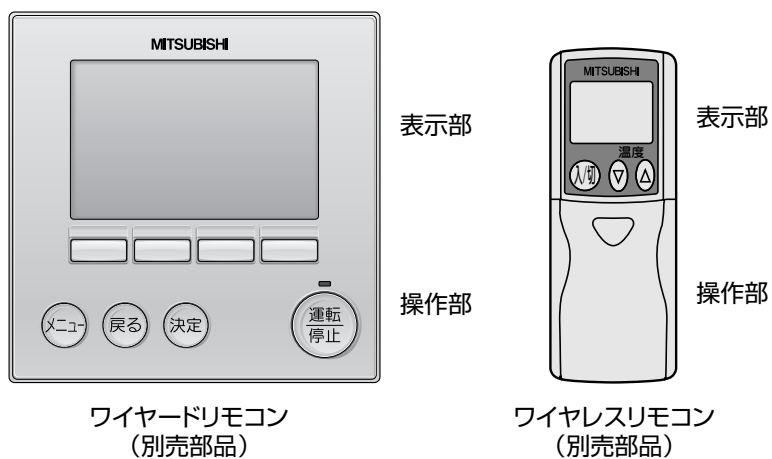
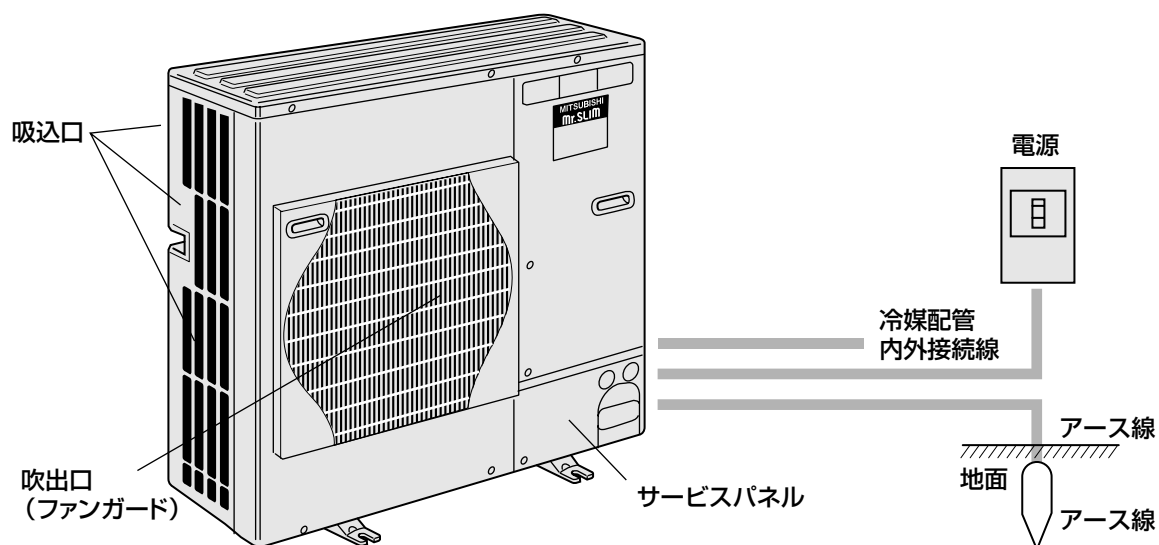
サービスパネル

電源

冷媒配管
内外接続線

アース線

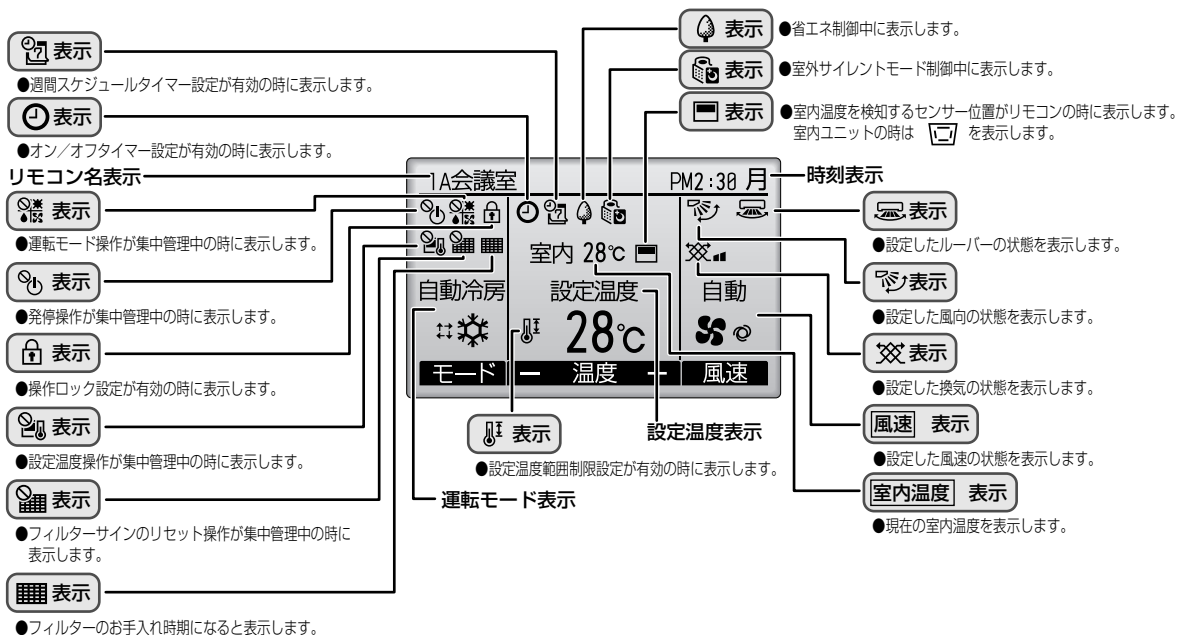
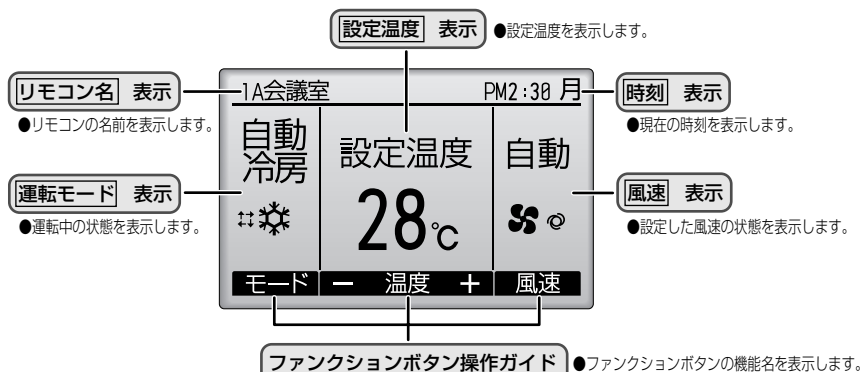
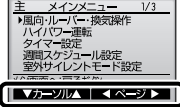
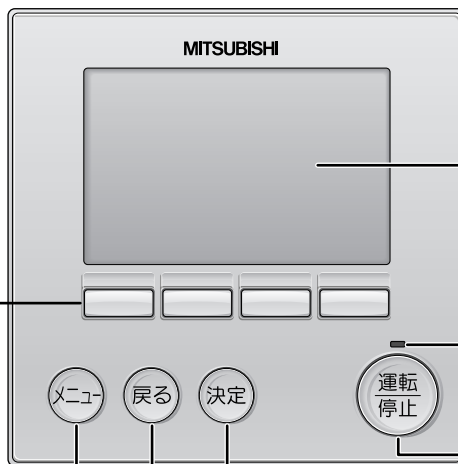
地面

アース線

● お使いになる前に 各部のなまえ

ワイヤードリモコン（別売部品）

表示部

■操作部、表示部はMAリモコンを記載しています。（説明のためすべての表示内容を示しています。）
■メイン画面の表示には「詳細画面」と「簡易画面」の2種類があります。初期設定は詳細画面表示となっています。

詳細画面
（メイン画面）

簡易画面
（メイン画面）

操作部

■バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。バックライトのみ点灯します。（運転／停止ボタンは除く）
■基本運転（運転／停止、運転モード切換、風量調節、温度設定）以外はメニュー画面からの設定となります。

ワイヤレスリモコン（別売部品）

送信部

表示部
- 説明のためすべての表示内容を示しています。
- リセットボタンを押したときは全表示します。

MITSUBISHI

冷房 ドライ 自動 送風 燃焼 暖房

点検 試運転 風速 機種設定 風向 スイング

この機能はありません

AMPM 88:88 に切

AMPM 88:88 に入

送信表示

タイマー表示

温度

入/切

運転/停止ボタン

設定温度ボタン
▽下げる △上げる

操作部

風速ボタン
（風速切換）

切タイマーボタン

入タイマーボタン

運転切換ボタン
（運転モード切換）

風向ボタン
（上下風向切換）

点検ボタン

時ボタン

ルーバーボタン
（左右風向切換）

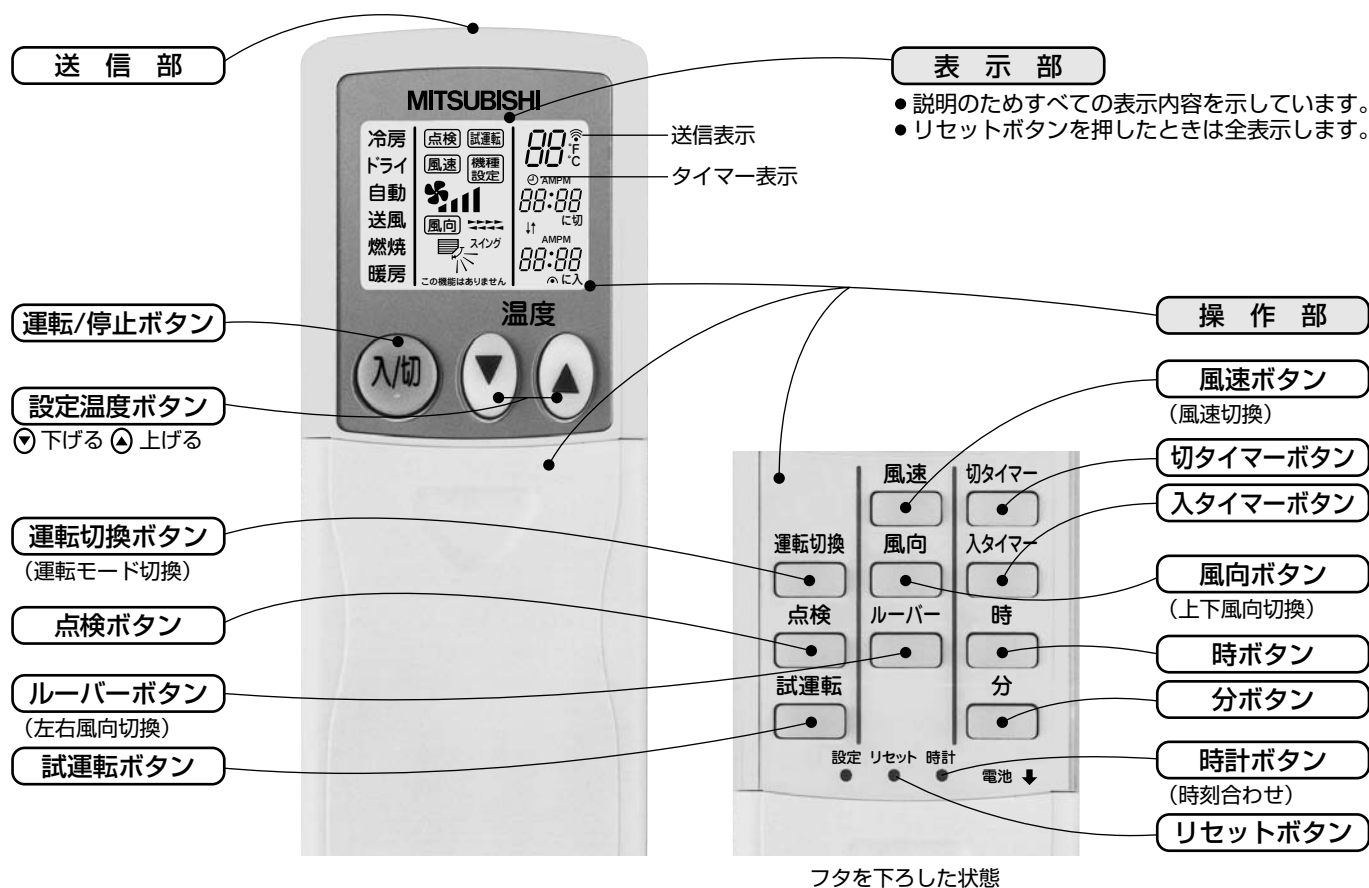
分ボタン

試運転ボタン

時計ボタン
（時刻合わせ）

リセットボタン

風速 切タイマー 運転切換 風向 入タイマー 点検 ルーバー 時 試運転 分 設定 リセット 時計 電池

フタを下ろした状態

■リモコンは、室内ユニットの受光部に向かって送信してください。

■電源を入れてすぐにリモコン操作をした場合、室内ユニットから“ピッピッ”と発信音がすることがあります。初期自動点検中ですので約2分間お待ちください。

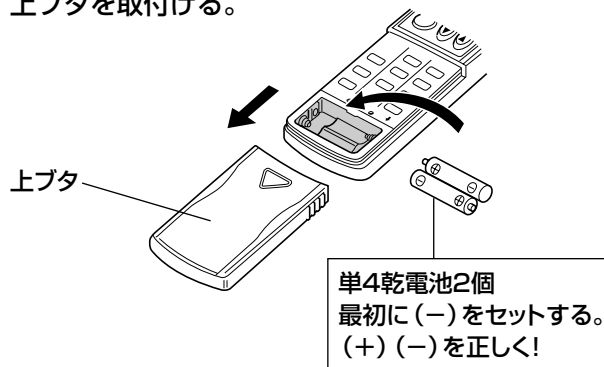
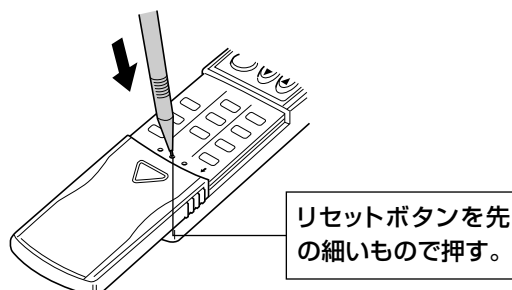
■リモコン送信部の信号が受光部へ届き、室内ユニットから“ピッ”と音を出してお知らせします。この信号の届く範囲は直線方向で約7m左右方向約45°程度です。また、蛍光灯などの照明や強い光の影響を受けて、信号が届きにくくなることがあります。

■受光部付近の運転ランプが点滅しているときは点検が必要です。
お買上げの販売店へご連絡ください。

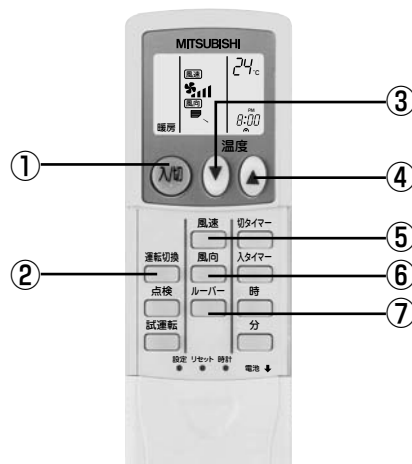
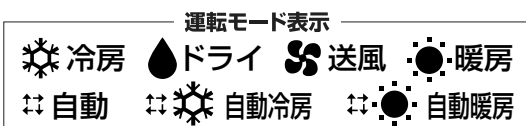
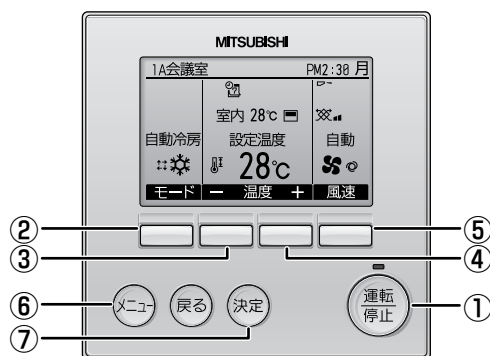
■リモコンの取扱いは大切に！ 落としたり、衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり湿度の高いところに置かないでください。

■紛失防止のためにリモコンホルダー（リモコンに付属）を壁に固定し、使用後は必ず元に戻すようにしてください。

電池を入れる／交換の方法

1 上ブタを引き抜き、単4乾電池2個を入れて上ブタを取付ける。

2 リセットボタンを押す。

● 運転のしかた　運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

運転モード表示

冷房　ドライ　送風　暖房
自動　自動冷房　自動暖房

運転の開始、運転モードを選ぶとき

ワイヤードリモコンの場合

1 ボタン①を押す。

運転ランプと表示が点灯します。

2 ボタン②を押す。

F1

●1回押すごとに設定が切換わります。

冷房 ➡ ドライ ➡ 送風 ➡ 自動 ➡ 暖房
※1　※1

※1　冷房専用機種の場合は、自動と暖房の表示はされません。設定もできません。
※2　換気装置が連動されている場合、全ての運転モードで連動しています。

ワイヤレスリモコンの場合

表示が点灯します。

運転切換

冷房 ➡ ドライ ➡ 自動 ➡ 送風 ➡ 暖房
※1　※1

（換気単独運転にすることはできません）
※1　冷房専用機種は、自動と暖房設定はできません。

設定温度を変えたいとき

ワイヤードリモコンの場合

室温を下げたいとき　F2　ボタン③を押す。

室温を上げたいとき　F3　ボタン④を押す。

ワイヤレスリモコンの場合

▼　ボタン③を押す。

▲　ボタン④を押す。

● 1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
● 温度設定範囲は次の通りです。

冷房・ドライ運転	暖房運転	自動運転	送風・換気
19～30℃	17～28℃	19～28℃	設定できません

※設定温度範囲制限が設定されている場合、可変できる温度範囲が狭くなります。
範囲を超えて設定しようとした場合、"設定温度制限中" が表示され、制限中であることが表示されます。くわしくは、リモコンの取扱説明書をご覧ください。

風速を変えたいとき

ワイヤードリモコンの場合

ボタン⑤を押す。　F4

ワイヤレスリモコンの場合

風　速

●1回押すごとに設定が切換わります。

風　速	ワイヤードリモコンの場合	ワイヤレスリモコンの場合
4段階	(静粛) ➡ (弱) ➡ (中) ➡ (強)	(静粛) ➡ (弱) ➡ (中) ➡ (強)
3段階	(弱) ➡ (中) ➡ (強)	(弱) ➡ (中) ➡ (強)
2段階	(弱) ➡ (強)	(弱) ➡ (強)
1段階	表示なし	

※機種により設定できる風速が異なります。（詳しくは4ページを参照ください）

お　知　ら　せ	■このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。 ●"暖房準備中"・"暖房霜取中"表示のとき　●暖房モードで設定温度より室温が高いとき ●暖房運転直後（モード切換待機中）　●ドライモードのとき

運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

上下風向を変えたいとき

● 1回押すごとに設定が切換わります。

	ワイヤードリモコンの場合	ワイヤレスリモコンの場合
PL-RP･LA5,6	スイング ↔ 設定1 ↔ 設定2 ↔ 設定3 ↔ 設定4	スイング → 設定1 → 設定2 → 設定3 → 設定4
PC-RP･CA5,6	設定1 ↔ 設定2 ↔ 設定3 ↔ 設定4	設定1 → 設定2 → 設定3 → 設定4

● 上下風向ベーンの運転・設定内容

運転モード	設 定				
暖房・送風	スイング	設定1	設定2	設定3	設定4
冷房・ドライ	スイング	設定1	設定2	設定3	設定4
運転モードを変更した時の上下風向設定	――	冷房･ドライ･送風運転	――	――	暖房運転

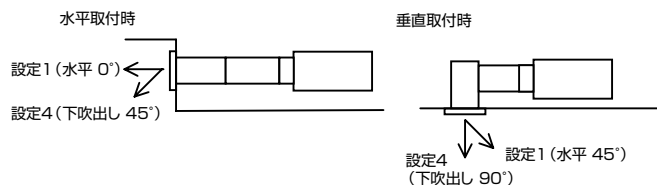
※ベーンを手で絶対に動かさないでください。
露たれ・ベーン故障の原因になります。

運転モード変更時のマイコン自動設定
（スイング設定のときは継続します）
● 冷房･送風･ドライモードにしたとき…設定1
● 暖房モードにしたとき…………………設定4

[PC-RP･BA5,6の場合]

■手動操作となります。
●転倒しないように足場をしっかりさせてください。
●運転を停止し、風向きルーバーをお好みの向きに調節してください。

■PD-RP・FA5,6シリーズの別売吹出口ユニットの風向調節範囲は次のとおりです。
吹出口ユニット水平取付時：設定1～設定4（水平 0°～ 45°）
吹出口ユニット垂直取付時：設定1～設定4（水平45°～ 90°）
※スイング動作できません
※強風以外の風速時に水平吹出し以外の風向で1時間経過すると自動的に水平吹出しにもどります。

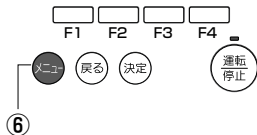
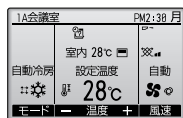
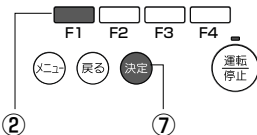
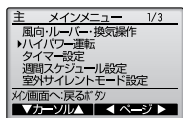
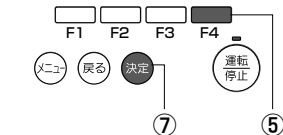
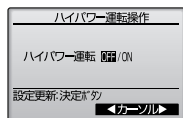
※運転モード変更時のマイコン自動設定
・冷房･送風･ドライ･換気モードにしたとき‥‥‥水平吹出し
・暖房モードにしたとき‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥下吹出し

お 知 ら せ

■このようなときは、液晶表示とユニットの上下風向が異なります。
●“暖房準備中”・“暖房霜取中”表示のとき　●暖房モードで設定温度より室温が高いとき
●暖房運転直後（モード切換待機中）

運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

ハイパワー運転を行うとき

ワイヤードリモコンの場合

1 ボタン⑥を押す。

2 ボタン②を押す。
ボタン⑦を押す。

3 ボタン⑤を押す。
ボタン⑦を押す。

- 運転能力を上げて、すばやく快適な室温に近づけます。
- ハイパワー運転は最大30分間運転し、自動で通常運転に戻ります。
- 運転モード切換、風速切換を行ったときも、通常運転に戻ります。
- 室外ユニットおよび室内ユニットの騒音が大きくなることがあります。

お知らせ

■ハイパワー運転は、
ワイヤレスリモコンでは行えません。

運転を停止するとき

ワイヤードリモコンの場合

1 ボタン①を押す。

ワイヤレスリモコンの場合

⚠ 注意　運転停止後、すぐに電源を切らないで必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因となることがあります。

再運転時の動作内容

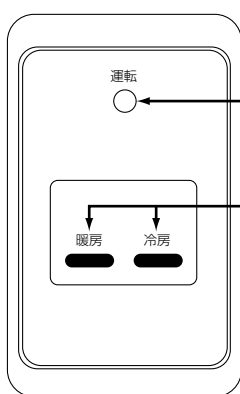
■ワイヤードリモコンで再運転した場合は、右表の内容で動作します。
（ワイヤレスリモコンでの再運転は、リモコンの設定されている内容にしたがいます。）
※機種により、前回の設定風向となる場合があります。

ワイヤレスリモコンの電池を入れた時

■電池を入れた時や交換した時には、必ずリセットボタンを押してください。（7ページ参照）
その際のワイヤレスリモコンの初期状態は右表となります。

		ワイヤードリモコンで再運転した場合の動作内容	ワイヤレスリモコンの電池組込み時の初期状態
運転モード		前回の運転モード	送風モード
設定温度		前回の設定温度	ー
風速		前回の設定風速	強
上下風向	運転モード：冷房・ドライ	水平吹き出し※	水平吹き出し
	運転モード：暖房	前回の設定風向	
	運転モード：送風・換気	水平吹き出し※	

応急運転のしかた　ワイヤレスリモコンが使えないとき

ワイヤレスリモコンの乾電池が切れたり、ワイヤレスリモコンが故障したときには、ワイヤレスリモコン受光部の応急運転ボタンを使って応急運転ができます。

運転ランプ
（運転時:点灯、停止時:消灯）

応急運転ボタン
リモコンが使えなくなったとき、ワイヤレスリモコン受光部の冷房または暖房ボタンを使って応急運転してください。
1回押すごとに運転（冷房または暖房）⇔停止に切換わります。
冷房専用機種の場合、暖房ボタンを押すと送風運転となります。

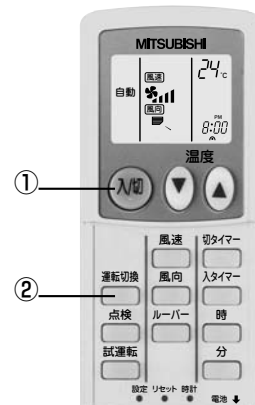
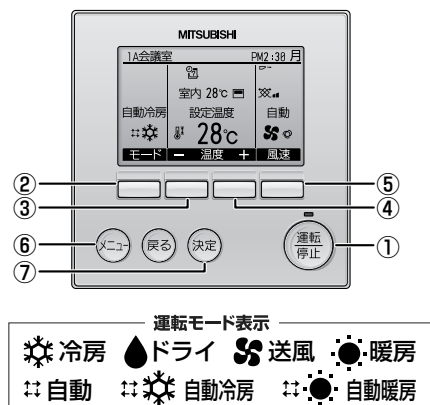
- インバータ方式の蛍光灯をつけた部屋では、信号を受けつけない場合があります。
新たに蛍光灯を買われる場合は、販売店に相談してください。

※応急運転時の運転内容は下記になります。
ただし、最初の約30分間は温度調節がはたらかず連続運転になり風速は強になります。

運転モード	冷房	暖房
設定温度	24℃	24℃
風速	強	強
上下風向	設定1	設定4

自動運転、換気運転のしかた

運転モード表示

冷房　ドライ　送風　暖房
自動　自動冷房　自動暖房

自動運転を行うとき

ワイヤードリモコンの場合

1 ボタン①を押す。

2 ボタン②を押す。

運転停止 → F1 表示を 自動 にする。

ワイヤレスリモコンの場合

入/切 → 運転切換 表示を 自 動 にする。

設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室温が低いときは暖房運転を開始します。
（17ページ参照）

※運転モードが確定した後に、現在の運転モード［自動冷房］、［自動暖房］が表示されます。
尚、リモコンの初期設定で、「自動冷暖表示:しない」に設定変更されている場合には、
“冷房”、“暖房” は表示されません。（［自動］の表示のみ）
（リモコンの初期設定については、リモコンの据付工事説明書（設定編）を参照してください。）

換気運転を行うとき

ワイヤードリモコンの場合

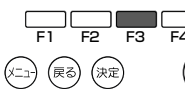
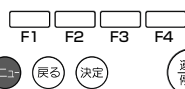
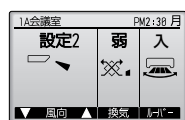
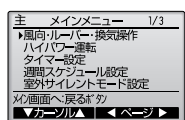
●室内ユニットと連動して換気装置を運転するとき 運転停止 ボタン①を押す。

●室内ユニットを運転したとき、自動的に換気装置も運転します。

●換気装置を単独で運転するとき

1 ボタン⑥を押す。

2 ボタン⑦を押す。
（「風向・換気・ルーバー」を選択している状態で）

3 ボタン④を押す。

●換気運転の風速を変えたいとき

F3 ボタン④を押す。

ワイヤレスリモコンの場合

● 換気装置が連動接続している場合はエアコンが運転を開始すると自動的に換気も運転します。
● リモコンには表示されません。

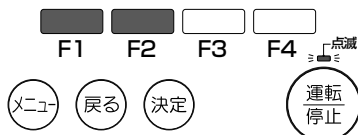
お　知　ら　せ

■室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する場合があります。

● 運転のしかた その他の表示・点滅について

●「運転ランプ」が点滅し液晶画面に異常情報が表示されている場合は空調機に障害が発生しているため、運転を継続できずに停止しています。
異常内容をご確認の上、空調機の電源を切り、お買い上げの販売店、または工事店にサービスをお申しつけください。

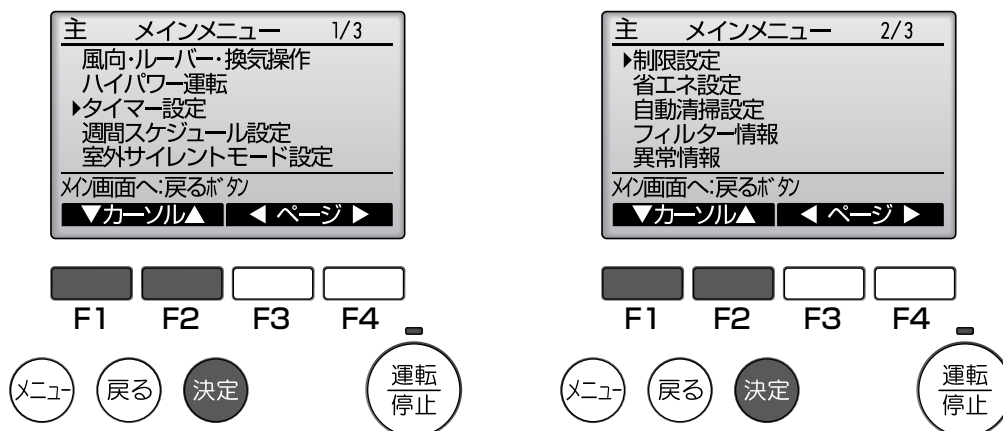
異常コード、冷媒アドレス、形名、製造番号が表示されます。
形名、製造番号はあらかじめ入力されている場合に表示されます。

F1 F2 ボタンで次のページを表示します。

連絡先情報はあらかじめ入力されている場合に表示されます。

携帯電話点検コード検索サービスサイトの QR コードと URL が表示されます。

その他の表示・点滅について

タイマー、スケジュール、静音、省エネ運転のしかた（ワイヤードリモコンの場合）

ワイヤードリモコンから、タイマー運転、週間スケジュール運転、室外サイレントモード運転（静音運転）、省エネ運転の設定ができます。
ワイヤードリモコンのメニューボタンを押してメインメニュー画面を表示し、 F1 F2 ボタンで設定したい運転を選択します。各運転の詳細設定方法は、ワイヤードリモコンの取扱説明書をご確認ください。

タイマー運転

■オン／オフタイマー
運転開始時刻と停止時刻が5分単位で設定できます。

■消忘れ防止タイマー
運転を開始してから停止するまでの時間を10分単位で設定できます。設定時間は30分から240分の範囲で設定できます。

週間スケジュール運転

1週間の運転開始時刻と停止時刻が設定できます。
1日最大8パターンの設定ができます。

室外サイレントモード運転

室外ユニットの静音性を優先した運転を行います。
1週間の室外サイレントモード運転開始時刻と停止時刻が設定できます。
室外ユニットの静音レベルは「標準」「中」「静」から選択できます。

標準　中　静

省エネ運転

■設定温度自動復帰
設定時間後に、設定した温度に戻します。
設定時間は10分単位で30分から120分の範囲で設定できます。

■省エネ運転スケジュール
1週間の省エネ運転開始時刻と停止時刻、能力セーブ値が設定できます。
1日最大4パターンの設定ができます。
設定時刻は5分単位で設定できます。
能力セーブ値は10%単位で90%から50%の範囲と0%で設定できます。

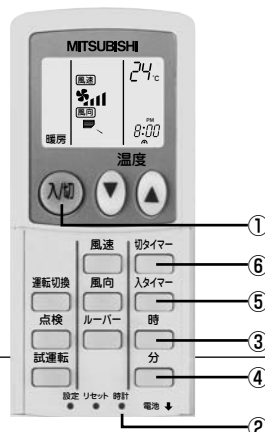
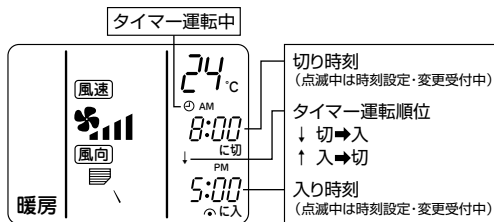
タイマー運転はワイヤレスリモコンでも設定できます。「タイマー運転のしかた（ワイヤレスリモコンの場合）」の項をご確認ください。
週間スケジュール運転、室外サイレントモード運転、省エネ運転は、ワイヤレスリモコンでは設定できません。

タイマー運転のしかた（ワイヤレスリモコンの場合）

タイマー運転の設定は、ワイヤレスリモコンの送信部を室内ユニットの受光部に向けて操作ボタンを押した時、室内ユニットから“ピッ”と音のすることを確認しながら行ってください。

■タイマー運転には次の3つの方法があります。
- ● [入タイマー運転] 運転の開始のみをタイマーで行う。
- ● [切タイマー運転] 運転の停止のみをタイマーで行う。
- ● [入⇄切タイマー運転] 運転・停止の両方をタイマーで行う。

■タイマー運転の設定は、24時間以内に入・切各1回以内です。
■タイマー時刻設定は、10分単位です。

タイマー運転中
風速
風向
暖房
24°C
AM 8:00 に切
PM 5:00 に入
切り時刻（点滅中は時刻設定・変更受付中）
タイマー運転順位
↓ 切➡入
↑ 入➡切
入り時刻（点滅中は時刻設定・変更受付中）

現在時刻の設定を行うとき

1 (入/切) **ボタン①を押す。** リモコンに表示がでます。

2 時計ボタン②を押す。 現在時刻が点滅します。

3 [時] **ボタン③・** [分] **ボタン④を押し、現在時刻を合わせる。**（電池を入れて最初に現在時刻を合わせる時はここから操作してください。）

4 時計ボタン②をもう1回押す。 現在時刻が点灯します。（現在時刻合わせの設定完了です。）

■設定中に現在時刻が点滅から点灯に変わった時には手順 **2** からやり直してください。

入りタイマー運転を行うとき

1 (入/切) **ボタン①を押す。** リモコンに表示がでます。

2 [入タイマー] **ボタン⑤を押す。** 現在時刻が消灯し、入り時刻と ◷ が点灯します。“に入”表示が点滅します。

3 [時] **ボタン③・** [分] **ボタン④を押し、入り時刻を合わせる。**
- ● 入タイマー時刻設定後“に入”表示は10秒間点滅して点灯に変わり、入タイマー設定が完了します。
- ● エアコンの運転は自動的に停止し、[入り時刻] まで待ちます。

■設定中に“に入”表示が点滅から点灯に変わった時には [入タイマー] ボタン⑤を押した後、手順 **2** からやり直してください。

切りタイマー運転を行うとき

1 (入/切) **ボタン①を押す。** リモコンに表示がでます。

2 [切タイマー] **ボタン⑥を押す。** 現在時刻が消灯し、切り時刻と ◷ が点灯します。“に切”表示が点滅します。

3 [時] **ボタン③・** [分] **ボタン④を押し、切り時刻を合わせる。**
●切タイマー時刻設定後“に切”表示は10秒間点滅して点灯に変わり、切タイマー設定が完了します。

■設定中に“に切”表示が点滅から点灯に変わった時には [切タイマー] ボタン⑥を押した後、手順 **2** からやり直してください。

入⇄切タイマー運転を行うとき

1 入タイマー・切タイマー両方の設定をする。
- ● ↑ ↓表示は↑または↓どちらかが表示され、
  ↑は、停止➡運転（入り時刻）➡停止（切り時刻）
  ↓は、運転➡停止（切り時刻）➡運転（入り時刻）を表します。

タイマー運転を解除するとき

入タイマー運転を解除するとき [入タイマー] **ボタン⑤を押す。** ● 入り時刻が消灯し、入タイマーは解除されます。

切タイマー運転を解除するとき [切タイマー] **ボタン⑥を押す。** ● 切り時刻が消灯し、切タイマーは解除されます。

入⇄切タイマー運転を解除するとき [入タイマー] **ボタン⑤と** [切タイマー] **ボタン⑥を押す。** ●入り時刻と切り時刻が消灯し、タイマーは解除されます。

タイマー運転を解除し、エアコンを停止するとき (入/切) **ボタン①を押す。** ●エアコンは停止します。同時に、設定されていたタイマー運転も解除されます。

お 知 ら せ
■タイマー運転が終了してエアコンが運転または停止すると、次の運転は自動的に連続運転となります。

CO_2排出量表示のしかた

エアコンが運転中に排出したCO_2排出量を表示します。
また、CO_2排出量の目標値を設定することにより省エネ度を表示することができます。

CO_2排出量表示　初期設定方法

CO_2排出量表示に関する設定を行います。 ※従リモコンでは設定ができません。

設定の手順

1．初期設定メニュー

1 メインメニュー画面で「初期設定」を選択し、 (決定) ボタンを押します。

2 初期設定メニュー画面（2/2）で、「CO_2表示設定」を選択し、(決定) ボタンを押します。

3 [F1]、[F2] ボタンで設定する項目を選択して [F3]、[F4] ボタンで変更します。

2．CO_2表示設定

CO_2表示設定	
▸前回排出量表示	する/しない
CO_2換算係数設定	0.400
収集時刻設定	24:00

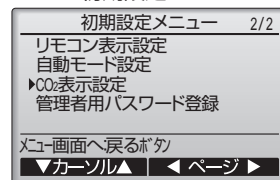
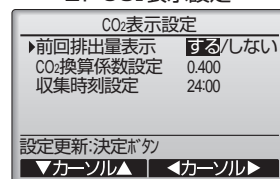
設定更新:決定ボタン
▼カーソル▲　◀カーソル▶

F1　F2　F3　F4

■前回排出量表示
停止操作を行った際に「前回排出量表示」を表示するかを設定します。（出荷時設定：表示する）
表示しないようにするには、「しない」を選択します。

■ CO_2換算係数設定
CO_2排出量は運転状態から推定される消費電力量を元に算出しています。
1kWh あたりのCO_2換算係数（kg）を設定します。
設定範囲：0.000 ～ 0.999（出荷時設定：0.400 ※）
※ CO_2排出係数 0.4 kg－ CO_2/kWh

■収集時刻設定
一日のCO_2排出量を収集する時刻を設定します。
設定範囲：1:00 ～ 24:00（出荷時設定：24:00）
※夜間などエアコンの電源を切る場合は収集時刻を変更してください。（停電している場合、データを収集することができません。）

4 設定完了後、 (決定) ボタンを押します。

CO_2排出量表示（前回排出量表示）

ワイヤードリモコンにて停止操作を行った際に本日のCO_2排出量を表示します。

■ CO_2排出量は停止後３分間表示されます。 ただし、他のメニュー画面に切り換えた時点で表示は消えます。
再表示するためには、 (決定) ボタンを３秒以上長押ししてください。

■ CO_2排出量表示画面にて [F4] ボタンを押すと、本日から８日分の省エネ度をグラフ表示します。
（(戻る) ボタンを押すと、メイン画面に戻ります。）

■目標 CO_2排出量設定は 16 ページを参照してください。

■ 10 分以上運転した場合にのみ表示します。

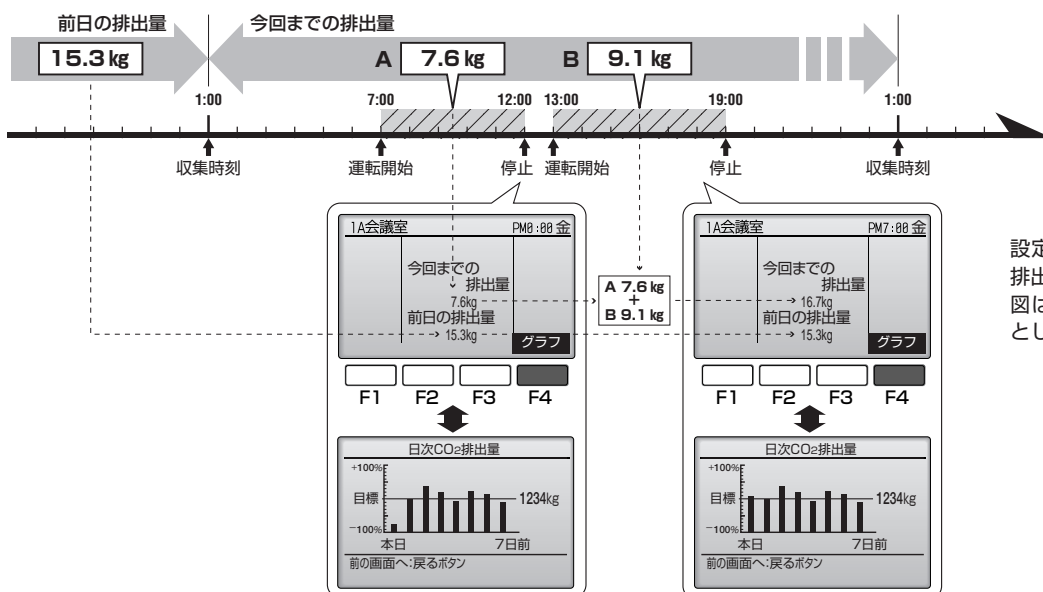
■ CO_2排出量は小数点第２位を繰上げして表示します。

■空調負荷が小さいとき、運転時間が短いときなど、CO_2排出量が 0.01 kg未満の場合は、0.0 kg表示となります。

■従リモコンでは表示されません。

■ワイヤードリモコン以外からの停止操作では表示されません。

■表示させないようにするには、設定の手順**3** に従って設定を変更してください。 出荷時は 「表示する」 設定です。

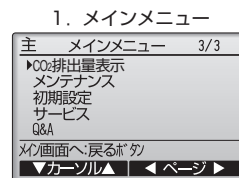
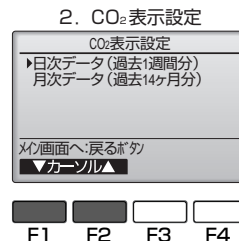
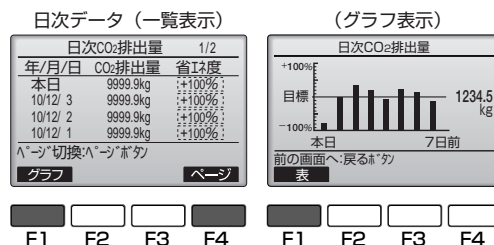
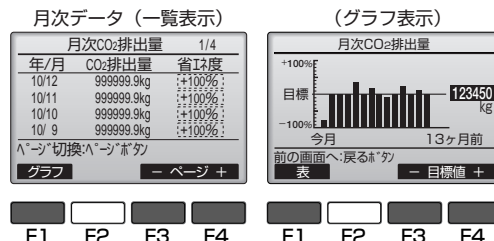
CO_2排出量表示例

設定しました範囲内のCO_2排出量を積算し表示します。
図は収集時刻設定を1:00としています。

CO_2排出量表示のしかた

日次／月次データ表示方法

過去の日次／月次データを表示することができます。

表示手順

1 メインメニュー画面（3/3）で「CO_2排出量表示」を選択し、
(決定) ボタンを押します。

2 F1 、F2 ボタンで「日次データ」「月次データ」を選択し、
(決定) ボタンを押します。

■日次データ
・一覧表示
本日から８日分のCO_2排出量と省エネ度（目標CO_2排出量に対する達成度）を表示できます。
ページを切り換える場合は F4 ボタンを押してください。
※正常に収集できなかった場合“----.-kg”が表示されます。
※収集時刻に電源を切っていた場合など、該当日のデータが表示されません。
このような場合、次回収集の際に今までの排出量が加算されます。
・グラフ表示
一覧表示画面にて F1 ボタンを押すと、本日から８日分の省エネ度をグラフ表示します。

■月次データ
・一覧表示
当月から 14ヶ月分のCO_2排出量と省エネ度（目標CO_2排出量に対する達成度）を表示できます。
ページを切り換える場合は F3 、F4 ボタンを押してください。
※当月データは前日までの積算値を表示します。
※一ヶ月間電源を切っていた場合などは、該当月のデータが表示されません。
・グラフ表示
一覧表示画面にて F1 ボタンを押すと、当月から 14ヶ月分の省エネ度をグラフ表示できます。

目標CO_2排出量設定方法

省エネ度を表示するための目標 CO_2排出量の設定を行います。

設定の手順

1 月次 CO_2排出量の一覧表示画面にて、F1 ボタンを押します。
※月次 CO_2排出量の一覧表示画面への操作方法は上記参照

2 月次CO_2排出量のグラフ表示画面にて、F3 、F4 ボタンを押し、目標CO_2排出量を設定します（10kg単位）。
※目標CO_2排出量の設定は月次データからのみ設定可能です。日次の目標CO_2排出量は月次の目標CO_2排出量の1/31に演算された値となります。

お知らせ

●CO_2排出量は運転状態から推定される消費電力量を元に算出した目安であり、実際の消費電力量から算出される値とは異なる場合があります。
●電気集じん器などの別売部品のCO_2排出量は含まれません。
●室外ユニットタイプにより表示できない場合があります。
●1つのリモコンで複数のエアコン（複数冷媒系統）を制御している場合、リモコンに接続されている全冷媒系統のCO_2排出量の合計が表示されます。室内ユニット毎、冷媒系統毎のCO_2排出量は、表示できません。
●「初回」または「目標CO_2排出量0kg設定」の場合には、電源投入時に目標CO_2排出量の仮の値が自動的に設定されます。
※仮の目標CO_2排出量は、使用環境や使用状況により実際の目標CO_2排出量とは一致しない場合があります。
●当日分のCO_2排出量は停止操作時に算出されます。
運転中のCO_2排出量はリアルタイムに表示できません。

もっと知りたいとき

ドライ運転とは

■ミスタースリムではマイコン制御により、お好みの室温に合わせて冷やし過ぎを抑えた除湿運転（ドライ運転）を行います。
■室温18℃以下では、ドライ運転はできません。
■室内ファンは室内ユニットのマイコンで風速の切換えが行われ、リモコンでは設定できません。

●運転モード

室温	圧縮機運転3分後		圧縮機運転時間（分）	圧縮機停止時間（分）
	温調信号	室温		
18℃を超える	ON	28℃以上	9	3
		26～27℃	7	3
		24～25℃	5	3
		23℃以下	3	3
	OFF	無条件	3	10
18℃以下	圧縮機運転禁止			

1.お好みの室温になるまで
室内温度の変化に合わせて圧縮機と室内ファンは連動して自動的に運転・停止を繰り返します。
2.お好みの温度になると
圧縮機・室内ファンとも停止します。
10分間停止が続くと湿度を低く保つため、圧縮機と室内ファンを3分間運転します。

温調信号ON・・・室温が設定温度より高い場合
温調信号OFF・・・室温が設定温度より低い場合

暖房運転について

■暖房開始時に風が弱い：吹出し空気が一定の温度に達するまでは、吹出し空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切換わります。
その間ワイヤードリモコンには“暖房準備中”と表示されます。（ワイヤレスリモコンの場合は受光部付近にある表示灯が点灯します。）
■風速が設定どおりにならない：室温が設定温度となり、風速は微風となります。
■風が出ない：ワイヤードリモコンに“霜取中”表示中は風を出しません。（ワイヤレスリモコンの場合は受光部付近にある表示灯が点灯します。）
■運転を停止しても風が出る：運転停止後約1分間、室内ユニット内の余熱を排熱するために室内ファンがまわる事があります。
※PE-RP-BA形は風速切換えがありませんので、風速は強風となります。

風向について

■冷房・ドライ運転時、下吹出しに設定しますと、1時間経過後、自動的に水平吹出しに戻ることがあります。
これは上下風向ベーンや吹出し口周辺などに露つき、露たれが生じたり、露飛びを防止するためです。
繰り返しご使用されて、露つきなどが発生した場合は、水平吹出しに戻してください。

換気連動運転とは

■室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行うものです。

ミスタースリムの使用温度範囲

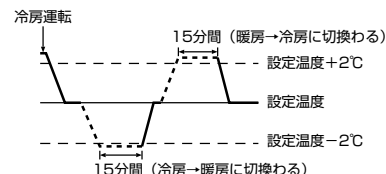
		室内	天井内	室外
冷房・ドライ	乾球温度	19℃～32℃	～30℃	※1 -5℃～43℃
	湿球温度	15℃～23℃	～RH80%	—
暖　房	乾球温度	17℃～28℃	—	※2 -11℃～21℃
	湿球温度	—	—	※2 -12℃～15℃
送風・換気	乾球温度	—	—	—

※1.PUZ−ERP形、PUZ−RP形室外ユニットについては別売のエアーガイドで室外ユニット吸込温度−15℃までの年間冷房運転可能。
※2.PUZ−ERP112～ERP280形、PUZ−RP224・RP280形は、
乾球温度：−20～21℃　湿球温度：−20～15℃
PUZ−HRP80～HRP160形は、
乾球温度：−25～21℃　湿球温度：−25～15℃

霜取中とは

■外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行っているときに表示します。
霜取運転は約10分程度（最大15分）で終わります。
■霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。
またこの間は上下風向ベーンを水平吹きに自動設定します。霜取運転を終了しますと暖房準備中へと移行します。

自動運転とは

■設定温度より室温が高い時は冷房運転を開始し、室温が低い時は暖房運転を開始します。
■自動運転中に室温が変化し設定温度より2℃以上高くなり、その状態が15分続くと冷房運転に切換わります。また、2℃以上低くなり、その状態が15分続くと暖房運転に切換わります。

室外サイレントモードとは

■室外ユニットの音が気になるとき、能力をセーブし、静音性を優先した運転を行います。

省エネ運転とは

■消費電力を制限するデマンド制御を行います。

● 運転のしかた 上手な使い方

上手な使い方ー“ミスタースリム”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

室内温度（室温）は最適に

■冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
■冷やしすぎは健康によくありません。電力のムダ使いにもなります。
■たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。

冷房時は熱の侵入を少なく

■冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
■出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。

長時間直接お肌に風をあてない

■長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因となることがあります。
■特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。

フィルターの清掃を

■フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。
また、露付・露たれの原因にもなります。
■ワイヤードリモコンはフィルターサイン付きです。（22ページ）

中間期にはドライ運転を

■ムシムシすると感じるときは、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係があり、
快適と感じる湿度条件は夏で60～70%、冬では55～70%程度といわれています。
■ムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎと感じることがあります。ドライ運転をご利用ください。

室内の温度ムラ解消に風向調節を

■冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重たいので水平吹
出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
■暖房時、足元が寒いのは冷たい空気は重いので、床の近くに溜まるからです。下吹出しなどにして
風向を調節してください。

ときどき換気を

■長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
■送風運転は、お部屋の空気を循環させる働きをします。
■冷房・ドライ・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気が
できます。当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。

「故障かな？」と思ったら

Q 故障かな？　A お答えします（故障ではありません）

Q よく冷えない。よく暖まらない。

A
■フィルターの清掃をしてください。（フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下しているためです）
■温度調節を確認して、設定温度を調節してください。
■室外ユニットの周囲空間を広くあけてください。
室外ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれていませんか？
■窓やドアが開いていませんか？
■風速を 弱・自動 で運転している場合、冷えや暖まりが弱い場合があります。このような場合は、風速を中・強に変更してください。
■圧縮機の予熱中です。外気温度が－20℃より低い条件で電源を入れた場合、最大で4時間運転できない場合があります。
（※PUZ-HRP80～160形の場合）

Q 暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。暖房準備中表示がでる。

A
■充分に暖かな風をおとどけするため準備中です。

Q 暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。

A
■外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。そのまま約10分ほどお待ちください。

Q 風向が途中で変わる、風向が設定どおりにならない。

A
■冷房およびドライ運転中、下吹出しで使用しますとベーンが自動的に1時間後に水平吹出しになります。これは水滴が滴下するのを防ぐためです。
■暖房運転中、吹出し温度が低いとき、または霜取運転中は自動的に水平吹出しになります。

Q 水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。

A
■エアコン内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。

Q “ピシッ、ピシッ”という音がする。

A
■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。

Q 部屋がにおう。

A
■エアコンが壁やじゅうたん、家具から発生するガス、又は衣類などにしみ込んだにおいを吸込んで、風を吹出すためです。

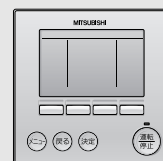
Q 室内ユニットより白い霧がでる。

A
■室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。
■霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。

Q 室外ユニットより水がでる。

A
■冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。
■暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。
■霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出ることがあります。

Q リモコンの運転表示が点灯しない。

A
■電源開閉器を入れてください。
表示部に罫線が表示されます。

Q リモコン表示部に の表示が出ている。

A
■ の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止の操作が禁止となっています

「故障かな?」と思ったら

Q 故障かな?　A お答えします(故障ではありません)

Q リモコン表示部に の表示が出ている。

A ■ の表示が点灯中はリモコンでの運転モードの操作が禁止となっています

Q リモコン表示部に の表示が出ている。

A ■ の表示が点灯中はリモコンでの設定温度の操作が禁止となっています

Q 再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したが動かない。

A ■ 約3分間お待ちください。
(エアコンを保護するため、止まっています)

Q 運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。

A ■入タイマー運転をしていませんか?
運転・停止ボタンを押して停止してください。
■遠方コントロールが接続されていませんか?
運転を指示したところへ連絡・確認してください。
■ の表示が点灯していませんか?
運転を指示したところへ連絡・確認してください。
■停電自動復帰を設定していませんか?
運転・停止ボタンを押して停止してください。

Q 運転・停止ボタンを押さないのに停止した。

A ■切タイマー運転をしていませんか?
運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。
■遠方コントロールが接続されていませんか?
停止を指示したところへ連絡・確認してください。
■ の表示が点灯していませんか?
停止を指示したところへ連絡・確認してください。

Q リモコンのタイマー運転がセットできない。

A ■タイマー設定が無効となっていませんか?
タイマー設定が有効なときは、、のいずれかが表示されています。

Q リモコンに "Please Wait" の表示が出る。

A ■初期設定(約3分)を行っているためです。

Q リモコンにエラーコードが表示される。

A ■空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
※自分では絶対に修理しないでください。
エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。

Q 排水音やモータの回転音がする。

A ■冷房運転停止時に、停止後3分間ドレンアップメカを運転してから停止するためです。3分間お待ちください。

Q 騒音が仕様値よりも高い。

A ■室内の運転音は反響などにより、無響室で測定した仕様値よりも一般的につぎに示します値程高くなります。

	吸音効果の高い部屋	普通の部屋	吸音効果の低い部屋
一般例	放送スタジオ、音楽室等	応接室、ホテルロビー等	オフィス、ビジネスホテル
騒音アップ値	3〜7dB	6〜10dB	9〜13dB

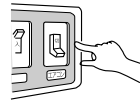
Q ワイヤレスリモコンの表示がでない、薄い、受光部に近付けないと受信しない。

A ■乾電池が消耗しています。
乾電池を交換し、リセットボタンを押してください。
※新しい乾電池でも表示の出ない場合は、
乾電池の入れ方(+、−)を再度確認してください。

Q ワイヤレスリモコン受光部の運転/停止ランプが点滅する。

A ■空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
※自分では、絶対に修理しないでください。
エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名を連絡してください。

お手入れのしかた

お手入れのまえに　■必ず、電源を「切」にしてください。

室内ユニット、リモコンの清掃

■やわらかい布でから拭きをしてください。

■上下風向ベーンは手で強く引っ張ったり押したりしないでください。故障の原因になります。
■リモコン線をひっぱったり、ねじったりしないでください。
　また、リモコンケースは取外さないでください。
■手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を使用し、布等に少量ふくませてから拭き取ってください。
■ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・酸性／アルカリ性洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。

フィルターの清掃

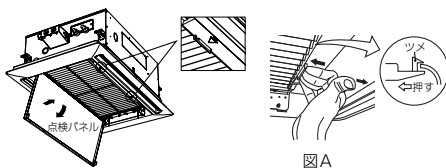
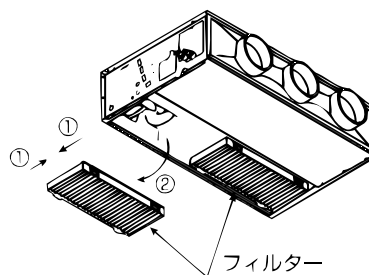
⚠ 注　意	必ず電源を切り、運転停止状態で清掃を行ってください。内部のファンが回転したまま作業をするとケガの原因になります。

⚠ 注　意	フィルターを取外した状態で運転をしないでください。内部にゴミなどが詰まり、故障の原因になります。

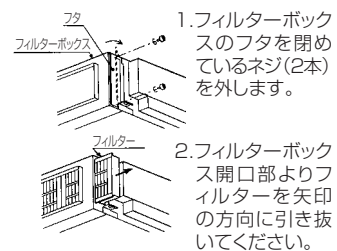
⚠ 注　意	フィルターを取外すときは目にホコリが入らないように注意してください。また踏台に乗って行う時は、転倒しないように注意してください。

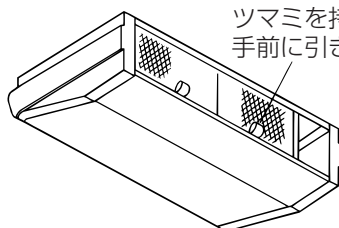
取外しかた

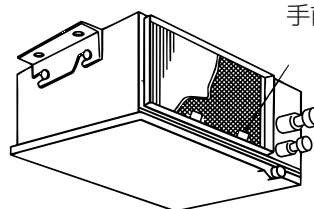
（PL-RP・LA5,6シリーズ）
1. 点検パネルを上に押上げながら矢印の方向へスライドさせた後、引くと点検パネルが開きます。
2. PUSH マーク付近の突起部に図Aのように指をあて、親指でパネル枠、その他の指で突起部を押しツメを外してください。

図A

（PD-RP・FA5,6シリーズ）
■フィルターのツマミを矢印①の方向に引くとフィルターが外れますので、矢印②の方向に引き抜いてください。

（PE-RP・CA5,6シリーズ）
■弊社別売フィルターをご使用の場合は、別売フィルターの説明書を参照してください。

1.フィルターボックスのフタを閉めているネジ(2本)を外します。

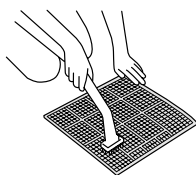
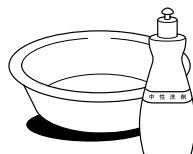
2.フィルターボックス開口部よりフィルターを矢印の方向に引き抜いてください。

（PC-RP・BA5,6シリーズ）
（PC-RP・CA5,6シリーズ）

ツマミを持ち、上にあげてから手前に引き出してください。

（PE-RP・BA5,6シリーズ）

ツマミを持ち、上にあげてから手前に引き出してください。

吸込ダクトを使用するときはこのエアフィルターを取外し別に吸込グリル側にエアフィルターを設置してください。

お手入れのしかた

お手入れの方法

■取外したフィルターのほこりを掃除機で吸い取るか､水洗いをし、日陰でよく乾かす。

■硬いブラシやタワシでこすらない。変形することがあります。

■汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯ですすぐ。
■直射日光や火にあてて乾かさない。
■熱い湯(約50℃以上)で洗わない。変形することがあります。

取付けかた

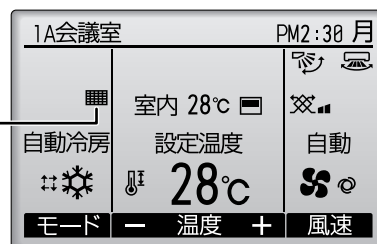
取付けは、取外しの逆の手順で行ってください。

⚠注意

■金属部(熱交換器)に直接素手で触れない。ケガの危険があります。(手袋などの着用をおすすめします)
■お手入れのときは不安定な台には乗らない。
転倒などによるけがの原因になります。

フィルター清掃時期

■ワイヤードリモコンの場合は ▦表示 表示を点灯させて清掃時期をお知らせします。
（ワイヤレスリモコンの場合は表示されません。）

室内ユニット	運 転 時 間
PL-RP･LA5,6形	2500時間
PD-RP･FA5,6形	2500時間
PE-RP･CA5,6形 (別売ロングライフフィルター)	2500時間
PE-RP･BA5,6形	100時間
PC-RP･BA5,6形	100時間
PC-RP･CA5,6形	100時間

表示をリセットする

1 『フィルター情報』を表示します。

2 F4 ボタンを押す。

3 F4 ボタンを押す。

4 完了画面が表示されます。

■必ずフィルター清掃を行ってから表示を消してください。表示を消すとユニットの運転時間もリセットされます。
■2台以上で形の異なる室内ユニットを操作する場合、接続された室内ユニットのうち1台でもフィルター清掃時期がくれば“フィルター清掃”が表示されます〈ロングライフフィルター：2500時間、一般フィルター：100時間〉。表示を消すと全てのユニットの運転時間がリセットされます。
■運転時間で表示される“フィルター清掃”表示は、一般的な室 内での空気条件で使用した場合の清掃時期を、目安時間で表示しているものです。環境の空気条件によって、汚れの程度 が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

長期間ご使用にならないとき

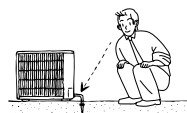
長期間ご使用にならないとき

1 4～5時間、「暖房」モードで運転してエアコン内部を乾燥させる。

■不衛生な「カビ」などが発生して室内に飛散し体調悪化や健康を損なう原因となることがあります。

2 エアコンの電源を切る。

■電源が入っていると数ワット～数十ワットの電力が消費されます。

3 アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。

4 ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。

5 運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。
（電源を入れる場合は、必ず外気温度が－20℃より高い条件で実施ください。）

⚠注意	アース線はガス管・水道管・避雷針・電話アース線に接続しない。 アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。 アース工事を行う場合は販売店にご相談ください。

再度使い始めるとき

■下記作業 **1** ～ **4** の点検を行い、異常の無いことを確認後、電源を入れてください。

1 フィルターを清掃して、取付ける。

2 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていないことを確認する。

移設・工事について

移設・廃棄について

⚠警告	据付や移設の場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。 ●空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。 ●指定冷媒以外を封入すると、機械的不具合・誤作動・故障の原因となり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらす恐れがあります。

■増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。
■据付けや移設時に冷媒を追加充填する場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

この製品はフロン回収・破壊法・第一種特定製品です。

■フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
■この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、必ず専門の回収業者に依頼してください。

据付場所について

⚠注意	●可燃性ガスの洩れる恐れのある場所には据付けない。万一ガスが洩れて、ユニットの周囲にたまると爆発の原因になります。

次の場所への使用は避けてください。

■可燃性ガスの洩れる恐れがあるところ
■炎の近くや溶接時のスパッターなど火の粉が飛び散るところ
■硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど機器に影響する物質の発生するところ〈温泉地、化学薬品工場、下水処理場、動物飼育室、メッキ工場など〉
熱交換器（アルミフィン、銅パイプ）などに腐食を起こす恐れがあります。
■粉や蒸気が多量に発生するところ
■機械油を使用するところ〈加工油を用いプレスや切削をする機械工場など〉
プラスチック部品の破損、フィルター劣化、送風機や熱交換器の機能低下を生じ製品寿命が著しく低下します。
■車輌・船舶など移動するものへの設置

次の環境でご使用の際は、使用を避けるか販売店へご相談ください。（室内ユニット）

■食用油を使用するところ〈厨房など〉
プラスチック部品の破損、フィルター目詰まりで機能低下が生じます。厨房用エアコンまたはダクト空調を選定してください。
■湿気の多いところ
冷房時に結露しやすくなります。
■高周波を発生する機械（高周波ウェルダー、医療機器、通信機器など）を使用するところ
通信異常やマイコン誤動作の恐れがあります。ノイズ発生源を遮断した上で施工してください。
■化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ〈美容室など〉
臭いが熱交換器に付着し、室内ユニットから吹出すことがあります。

海浜地区・積雪地区における設置に関するご注意（室外ユニット）

■海浜地区等塩分の多いところ
使用を避けるか、耐塩害／耐重塩害仕様室外ユニット（受注品）をお求めください。
■積雪の多いところ
室外ユニットへの雪の侵入を防ぐため、防雪ダクト、防雪フードを取付けてください。（別売として用意しています。）

室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれの原因になります。

電気工事について

⚠注意	●アース工事を行う。 アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアースに接続しない。 アース工事に不備があると、感電の原因になります。 ●据付場所（水気のある場所など）によっては、漏電遮断機を取付ける。 漏電遮断機が取付けられていないと、感電の原因になります。

■電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」及び据付工事説明書に従って施工してください。
■電源は必ずエアコン専用回路にしてください。
他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。
■ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

運転音にも配慮を

■据付けにあたっては、エアコンの質量に充分に耐え、振動が増大しない場所を選んでください。
■室外ユニットの吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならない場所を選んでください。
■室外ユニットの吹出口の近くには物を置かないでください。
性能低下や運転音増大のもとになります。

保証とアフターサービス

●「修理・取扱い・お手入れ」などのご相談は、お買上げの販売店・施工者・設備業者へお申しつけください。
●お買上げ先へご依頼できない場合は「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口」（別添）へお問い合わせください。
●エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロ等の火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。
●この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

保　証　書

■室内ユニットに保証書を添付しております。
セットでお買い上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
■保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。
■内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
■保証期間中でも有償になる場合がありますので保証書をよくお読みください。

保証期間…お買上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。

補修用性能部品の保有期間

■パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後9年です。
■補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

“「故障かな？」と思ったら”（19・20ページ参照）に従ってお調べください。なお、不具合のあるときは、必ず電源を切ってからお買上げの販売店にご連絡ください。
■保証期間中は
修理に際して、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。
■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。
修理料金は、技術料＋部品代＋（出張料）などで構成されています。
■ご連絡いただきたい内容

1.品名	パッケージエアコン
2.形名・製品番号	室内ユニットは、保証書に記入してあります。 室外ユニットは、室外製品銘板に記入してあります。
3.お買上げ日	○○年○月○日
4.故障の状況	できるだけ詳しく （リモコンのエラー表示記号なども）
5.ご住所	付近の目印なども
6.お名前・電話番号	

保守点検契約のおすすめ

■エアコンを数シーズン使用すると、内部が汚れて性能が低下します。臭いが発生したり、ゴミやホコリなどによりドレンホースが詰り、室内ユニットから水漏れまたは、異常停止することがあります。さらに補助電気ヒータ付き機種は、ヒータにゴミやホコリなどが付着して発煙に至ることがあります。
通常のお手入れとは別に保守点検契約をおすすめします。
■点検と保全周期の目安［保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］

●表1.「点検周期」及び「保全周期」の一覧

主　要　部　品　名	点検周期	保全周期［交換または修理］
圧縮機	1年	20,000時間
モーター（ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など）		20,000時間
ベアリング		15,000時間
電子基板類		25,000時間
熱交換器		5年
膨張弁		20,000時間
バルブ（電磁弁、四方弁など）		20,000時間
センサー（サーミスタ、圧力センサーなど）		5年
ドレンパン		8年

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。

上表は次の使用条件が前提となります。
①頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。
（機種によりことなりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。）
②製品の運転時間は、10時間／日、2500時間／年と仮定しています。
（氷蓄熱など夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。）
また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」及び「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
②電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所でご使用される場合（許容範囲外での使用はできません。）
③振動、衝撃が多い場所に設置され、ご使用される場合。
④塵埃、塩分、亜硫酸ガス及び硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
⑤頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。（24時間空調など）
■消耗部品の交換周期目安［交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］
●表2.「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年
高性能フィルター		1年
ファンベルト		5,000時間
平滑コンデンサー		10年
ヒューズ		10年
透湿膜式加湿エレメント		5年
自然蒸発式加湿エレメント		3年
クランクケースヒーター		8年

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。

仕　様

●PL-RP・LA5,6形

形名	40形	45形	50形	56形	63形	71形	80形	112形	140形	160形
騒音：強-中-弱 dB	31-28-25		34-31-27		35-32-29		37-35-30	42-39-35	44-41-38	48-44-38
風量：強-中-弱 m^3／min	9.5-8.0-6.5		10.5-8.5-7.0		12.5-11-9.0		15.5-13-10	26-22-19	26-22-19	30-26-19
機外静圧 Pa	0									
外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	290×776×634<20×1080×710>				290×946×634<20×1250×710>			290×1446×634<20×1750×710>		
質量 kg	23<6.5>	24<6.5>			27<7.5>		28<7.5>	44<12.5>	47<12.5>	

●PD-RP・FA5,6形

形名	40形	50形	56形	63形	71形	80形	112形	140形	160形
騒音：強-中-弱-静粛 dB	38-36-34-32		39-37-35-33		40-38-36-34	41-39-37-35	41-35	44-38	
風量：強-中-弱-静粛 m^3／min	14-12.5-11-10				18-16-14-12.5	19.5-17.5-15.5-13.5	28-19.5	34-24	
機外静圧 Pa	〈15〉-35-〈85〉｛〈30〉-50-〈100〉｝						35-〈85〉｛50-〈100〉｝		
外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	295×960×735				295×1160×735		335×1510×775		
質量 kg	32		34		39		52		

●PE-RP・CA5,6形

形名	50形	56形	63形	71形	80形	112形	140形	160形
騒音：強-弱 dB	36-28	36-29		40-33		43-36		
風量：強-弱 m^3／min	14-10			19-13.5	22-15.5	38-26.5		
機外静圧 Pa	〈50〉100〈200〉							
外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	380×754×900				380×1004×900	380×1204×900		
質量 kg	44	45			50	70		

●PE-RP・BA5,6形

形名	224形	280形
電源	三相　200V　50/60Hz	
騒音：強一弱 dB	49	53
標準風量：強一弱 m^3／min	60	80
標準機外静圧 Pa	50(150に切換可)	
外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	465×1580×604	
質量（本体＋パネル） kg	74	80

●PC-RP・BA5,6形
●PC-RP・CA5,6形

形名	224形	280形
電源	室外ユニットからの電源重畳(AC200V)	
騒音：強一弱 dB	53−50	55−52
標準風量：強一弱 m^3／min	58−49	70−60
標準機外静圧 Pa	0	0
外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	320×1800×800	320×2100×800
質量（本体＋パネル） kg	80	90

●騒音レベルは無響音室にて測定した値となっています。値はA特性値です。
（室内設置時反響により騒音レベルは上がります。）
●PL-RP・LA5,6形の<　>内数値は化粧パネルの値です。
●機外静圧の〈　〉内の数値は静圧設定変更時の値を示します。
PD-RP・FA5,6形の｛　｝内の数値は角ダクト装着時の値を示します。（カッコなしは円形ダクト時の値です。）
●騒音レベルは標準機外静圧時の値となっています。
●PD-RP112,140,160FA5,6、PE-RP・CA5,6（全シリーズ）の風量は、強弱の2段階となっています。
●電気特性は製品に貼付けしてあります製品銘板に記入してあります。
●PE-RP・BA5,6形には風量切換(強一弱)切換えはありません。

様式1　冷媒漏えい点検記録簿（汎用版）　　年　月　日 ～　年　月　日

管理番号	

施設所有者				設備製造者				
施設名称		系統名		設置年月日				
施設所在地		電話		使用機器	型式		製品区分	
運転管理責任者		電話			製番		設置方式	現地施工
点検事業者 会社名		責任者			用途	空調用	検知装置	
点検事業者 所在地		電話		冷媒量（kg）	合計充填量	合計回収量	合計排出量	排出係数（%）
使用冷媒 R410A	初期充填量（kg）	点検周期 基準	実績（月）					

作業年月日	点検理由	充填量（kg）	回収量（kg）	監視･検知手段（最終）	センサー型式	センサー感度	資格者名	資格者登録No.	ﾁｪｯｸﾘｽﾄNo.	確認者

●JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有償）をお願いいたします。
定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。
なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。*JRA:社団法人 日本冷凍空調工業会
・JRA GL-14について、http://www.jraia.or.jp/index.html
・フロン漏えい点検制度について、http://www.jarac.or.jp/roei/

●フロンの見える化

室内機および室外機に表示されている左記のシンボルマークは、パッケージエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることをご認識いただくための表示です。
この製品はフロン回収破壊法の第1種特定製品です。廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第1種フロン類回収業者にフロン類の回収を依頼してください。
室内機に表示されているフロン類の二酸化炭素換算値は、一般的な組合せ（室外機1台／室内機1台）での、冷媒配管長 30m を想定した冷媒量を元にしています。
システム全体でのフロン類の二酸化炭素換算値は、室外機に表示されています。（3135kg ～ 16.1ton）

愛情点検

●長年ご使用のエアコンは点検を！

●パッケージエアコン補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後9年です。

ご使用の際このようなことはありませんか	●運転音が異常に大きくなる。 ●室内ユニットから水が漏れる。 ●電源が頻繁に落ちる。 ●その他の異常や故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

お買上げ販売店名	電話（　　　）　－
お買上げ（据付）日	年　月　日

省エネで　守る環境　豊かな暮らし

三菱電機株式会社
〒100-8310　東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）
〒640-8686　和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所（073）436-2111

WT06057X02